

## 九州エリアの2023年2月分電気料金の燃料費調整について

九州エリアの2023年2月分の電気料金につきまして、下記のとおり燃料費調整を実施いたします。

記

### 1 燃料費調整単価（税込）

	供給電圧	激変緩和措置 反映前	激変緩和措置	激変緩和措置 反映後
1 kWhにつき	低圧の場合	8円43銭	▲7円00銭	1円43銭
		離島ユニバーサル サービス調整単価		合計
		0円08銭		1円51銭

※ 2022年10月28日の閣議決定「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」にもとづく電気料金の高騰の激変緩和措置の実施に伴い、2023年2月分から10月分(1月使用分から9月使用分)においては、電気料金の燃料費調整単価について、1キロワット時につき7円を減じます。

### 2 平均燃料価格（貿易統計）

2022年 9～11月 の実績	平均原油価格	95,549 円/k1
	平均LNG価格	152,007 円/t
	平均石炭価格	56,336 円/t
	平均燃料価格	89,400 円/k1
基準燃料価格		27,400 円/k1

（参考）燃料費調整単価の算定

#### ◇平均燃料価格の算定

		<換算係数>	
		原油換算係数×熱量構成比	
原油価格	A	95,549 円/k1	× 0.0053 (α)
LNG価格	B	152,007 円/t	× 0.1861 (β)
+) 石炭価格	C	56,336 円/t	× 1.0757 (γ)
		↓ (10円の位で四捨五入)	
平均燃料価格		89,400	円/k1 (100円単位)

#### ◇燃料費調整単価の算定（低圧の場合）

		<基準単価>	
		燃料価格が1,000円/k1 変動した場合の料金変動	
燃料費調整単価	=	( 89,400 - 27,400 )	× $\frac{13.6}{1,000}$ (銭)
	=	843.20	
		↓ (小数点以下第1位四捨五入)	
激変緩和措置反映前の 燃料費調整単価(税込)		8円43銭	/kWh
		<激変緩和措置>	
激変緩和措置反映後の 燃料費調整単価(税込)	=	8円43銭	- 7円00銭
	=	1円43銭	



(参考2) 離島ユニバーサルサービス調整単価の算定

◇平均燃料価格の算定

<換算係数>

原油換算係数×熱量構成比

原油価格	A	95,549円/k1	×	↓ 1.0000 (α)
LNG価格	B	152,007円/t	×	0.0000 (β)
石炭価格	C	56,336円/t	×	0.0000 (γ)
+)				
↓ (10円の位で四捨五入)				
平均燃料価格		78,800	円/k1 (100円単位)	

※ 2023年2月分の平均燃料価格(95,500円/k1)が上限(78,800円/k1)を超えたため、平均燃料価格を78,800円/k1として算定しています。

◇離島ユニバーサルサービス調整単価の算定 (低圧の場合)

<基準単価>

燃料価格が1,000円/k1  
変動した場合の料金変動

$$\begin{aligned}
 \text{燃料費調整単価} &= \left( \overset{\text{平均燃料価格}}{\text{78,800}} - 52,500 \right) \times \frac{0.3}{1,000} \text{ (銭)} \\
 &= \text{7.89} \\
 &\quad \downarrow \text{(小数点以下第1位四捨五入)} \\
 \text{燃料費調整単価 (税込)} &= \text{0円08銭} / \text{kWh}
 \end{aligned}$$

以上